

# 所 報

(2007.5.1～6.30)

## □人 事 (5月1日付)

客員研究員

グエン・チ・タイン・タム (ハノイ外国貿易大学 2008年3月31日まで)

## □刊行物

法政大学大原社会問題研究所監修／協定会研究会 (梅田俊英・高橋彦博・横関至) 編【協定会史料】『産業福利』復刻版 第1回配本, 柏書房  
『大原社会問題研究所雑誌』583号 (2007年6月)  
『日本労働運動資料集成』第5回配本 (第XIII巻, 別巻), 旬報社  
『日本労働年鑑』第77集 (2007年度版, 旬報社)  
『大原社会問題研究所雑誌』584号 (2007年7月)

## □図書受入 (5月)

	和 書	洋 書	計
購 入	48	16	64
受 贈	66	0	66
合 計	114	16	130

## □図書受入 (6月)

	和 書	洋 書	計
購 入	43	25	68
受 贈	56	0	56
合 計	99	25	124

## □閲覧サービス (5月)

閲覧

開館日数 15日  
閲覧人員 20名  
貸出図書 27冊

コピーサービス

学外 14件 12991枚  
学内 13件 512枚

## □閲覧サービス (6月)

閲覧

開館日数 21日  
閲覧人員 37名  
貸出図書 46冊

コピーサービス

学外 34件 4384枚  
学内 6件 135枚

## 日 誌

### □5月

- 9日 見学：永野秀雄人間環境学部教授  
運営委員会  
議題①2007年度研究所プレゼンテーションについて  
②2006年度事業報告について  
③2006年度決算について  
④2007年度予算について  
⑤専任研究員の昇格について  
⑥その他
- 11日 研究所プレゼンテーション (相田所長)
- 14日 社会学部4年生の学生1名に研究所内を案内 (上之原有希)  
見学：三島倫八龍谷大学社会科学研究所所長  
南雲和夫嘱託研究員, 竹前栄治資料整理開始
- 15日 協定会研究会  
『産業福利』復刻の準備
- 18日 重複・不要図書を各労働資料協機関へ配布 (計457冊)  
事務会議
- 22日 研究員会議  
月例研究会  
テーマ：『日本労働運動資料集成』の編纂を終わって  
報告者：早川征一郎
- 23日 多摩キャンパス麻疹により休講。これに伴い研究所も休館 (～6月3日)
- 30日 ランチタイムセミナー「イム・ヨンイル氏を囲んで」

### □6月

- 6日 運営委員会  
議題①専任研究員の昇格委員の選出について  
②専任研究員の定年延長の手順について  
③2007年度研究所プレゼンテーション

を受けて

i 新しい切り口, ii 大学院教育の工夫, iii 研究会と学内競争的資金, 外部資金, ワーキングペーパー

④その他

7日 国際交流講演会 (於:市ヶ谷キャンパス 80年館7階「丸」会議室)

テーマ:「アメリカ労働運動の「次の大高揚」は起きるか?:労働運動と社会運動の「融合論」とそれをめぐる論争」

スピーカー:ダン・クローソン氏 (米マサチューセッツ大学アマースト校社会学部教授) (通訳:鈴木玲)

13日 B3書架増設工事現場説明会

16日 加齢過程における福祉研究会

テーマ:「終末期を見据えての高齢者の在宅ケア」

講師:秋山正子氏 (白十字訪問看護ステーション)

19日 見学:社会学部佐伯哲朗先生「基礎演習」19名

20日 戦後労働運動研究会 (最終回, 第62回)

テーマ:「『日本労働運動資料集成』の刊行を終えて」

26日 事務会議

27日 研究員会議

月例研究会

テーマ:「杉山元治郎の公職追放-『農民運動の父』杉山元治郎の戦中・戦後」

報告者:横関至

見学:アン・ヘリング経済学部教授演習18名

## 大原社会問題研究所利用のご案内 (抄)

### 【利用資格】

制限はありません。社会・労働問題に関心ある方は、どなたでも利用できます。

『大原社会問題研究所雑誌』の定期購読者にはコピー料金の割引なども行っています。

### 【開館時間】

〈平日〉9時~17時 〈土曜〉9時~12時

### 【休館日】

日曜, 祝日, 年末年始, 大学の入学試験日, 他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示, ホームページでお知らせします。

### 【複写】

1枚40円 (法政大学教職員・学生は10円)

\*丁寧コピーは1枚60円 \*デジカメ等による自写は1枚10円 コンピューターからの所蔵データのプリントは1枚10円 \*貴重書・劣化の激しい資料・製本新聞は複写できません。

### 【館外貸出し】

法政大学教職員・学生・『大原社会問題研究所雑誌』定期購読者のみ可

教員・研究員・大学院生:10冊 3か月以内

学生・定期購読者:5冊 2週間以内。

### 【所蔵資料の刊行物等への利用】

有料です。所長宛に内容を明記した「使用許可願い」を出してください。

\*撮影したフィルムは研究所に寄贈してください。

\*掲載図書には, 当研究所所蔵資料である旨を明記し, 1点を寄贈してください。

### 【非来館サービス】

〈文献複写〉上記料金+送料実費で行います。文書, Fax, メール等でお申し込みください。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数:3冊以内 期間:1か月以内

☆その他詳しくはホームページ<http://oisr.org>をご覧ください。いただくか, 直接お問い合わせください。

大原社会問題研究所雑誌 No.586・587

(2007年9・10月号)

定価 2,000円 (本体1,905円), 年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2307

## 投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

#### 【原稿送付先】

〒194-0298 東京都町田市相原4342  
法政大学大原社会問題研究所  
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

#### 1 一般的な原則

- ① 横書きとする。
- ② タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
- ③ 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
- ④ 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
- ⑤ 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

#### 2 注記の方式

##### ■日本語の図書・論文の場合

- A. 日本語で書かれた図書については、①著者名、②書名（書名は『 』で囲む）、③出版社名、④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
- B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「——他」の方式も可とする。
- C. 論文については、①執筆者名、②論文名（「 」で囲む）、③掲載雑誌名（『 』で囲む）、④巻号、⑤発行年月日の順に書く。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

##### ■欧文の図書・論文の場合

- A. 欧文の図書については、①著者名、②書名、③発行地（あるいは出版社名）、④出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
- B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
- C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上